

くに し せき み の かね やま じょう あと 国史跡 美濃金山城跡

可児市の宝物
シートNo.2 [小学生用]

🕒 戦国タイムカプセル!

かねやま み の かねやまじょう
兼山のお城は「美濃金山城」といいます。
おだのぶなが
織田信長が活やくした、今から450年以上も前につくられたお城です。
今でも山の上に石がきなどが残り、登って見がくすることができます。



川みなとのあと



お城のある山



かじょうじ
可成寺



きふね神社



むかしの兼山

兼山の歴史

兼山は、城下町として栄えた町です。もともと「金山」と書きましたが、近くに同じ名前のところがあったので、今から350年ほど前に「兼山」と書き方を変えました。

まちの北側を木曾川が流れ、山の南側には大きな道が通っていて、兼山にはたくさんの人や物が集まりました。

川には昔から湊があり、海のほうから塩や魚が船で運ばれてきました。町の通りには、酒屋さん、服屋さん、お茶屋さんなど、たくさんのお店がならんでいました。

兼山には、今でも土かべの倉やお寺、神社がたくさん残っています。

斎藤のとの様が城をつくる

とてもにぎわっていた兼山に、斎藤という人がはじめて城をつくりました。まわりではたくさんの戦いがおこっていて、攻められないために山の上に城をつくったのです。

斎藤のおとの様はお坊さんでもありました。親しいお坊さんをまねき、城でおもてなしをしました。



斎藤のおとの様は、若いのにりっぱな人ですよ。こんな山の上にお城をつくって、たくさんの兵に守らせている。

お城ではお茶をいただきました。斎藤さんは、すごく勉強していて感心しました。

お城の上からは、みなとにある船や市場にいる人のようすがよく見えましたよ。



長沼学芸員にききました

森家のとの様



森ながよしがぞう

450年前に、森可成が金山城と名前を変えました。

可成は織田信長様のけらいでしたが、戦いで亡くなってしまうました。兼山にある可成寺は可成のために建てられたんだよ。

らんまるも城主になっています。

らんまるは金山城で生まれました。信長様のそばでいろいろなことを勉強したんだよ。

弟の忠政も城ののようになったよ。豊臣秀吉様のけらいとして活やくしたんだ。今の城跡は、その時の様子の子のままだよ。



森ただまさぞう

次にとの様となったのが、らんまるのお兄さんの長可です。たくさんの戦いで活やくし、鬼武蔵という強そうな名前を付けられました。



長沼学芸員

美濃金山城のここがスゴイ!!

- 高い石がき
- 建ものの柱の土台石
- 建ものの屋根に使った瓦
- 城をつくる時にけずった岩
- 城のこわされ方がわかる



二の丸の角の石がき



高い石がき